



二〇一五年七月新刊

高橋
康夫
著

Takahashi Yasuo

日本琉球都市史研究

海の京都

既刊書より



平安京の住まい

西山良平・藤田勝也 編著

従来、日本史・建築史いずれの分野でも、貴族と庶民に分別して論じられてきた「居住と住宅」。両者をあわせて検討することで、それぞれの成立に関係性を見出そうという初の試み。日本史・建築史・考古学・庭園史の諸分野の学際的な共同作業によって、平安京の住まいが全体像を見せ始める。これから研究上の指針を示す画期的論集。

菊判 376 頁 4,000 円
ISBN 978-4-87698-697-2

平安京と貴族の住まい

西山良平・藤田勝也 編著

建物の配置や様式を巡って「寝殿造」は定型的に理解されてきた嫌いがある。しかし実際の貴族の住まいは、多様性を予想させる未解明な部分も多く、成立時期も再検討されるべきである。新出の里内裏の遺構や、遺物、小規模宅地の考察をはじめ、平城京、院政期鳥羽殿、平泉庭園、鎌倉武家屋敷との比較等から、平安京貴族邸宅の実像に迫る。

菊判 400 頁 4,200 円
ISBN 978-4-87698-571-5

夢とモノノケの精神史 平安貴族の信仰世界

上野勝之 著

「夢」に対するイメージ、邪氣・癪（おこり）・ヨリマシ加持など「モノノケ」観念を題材に、平安貴族の宗教的心性を明確する。およびたどりて分量の史料を分析しながら、文学・民俗学・宗教学・日本史・医療史などのさまざまな角度から徹底的に追究し、平安貴族およびその後の歴史における日本人の宗教的心性に関する明確な仮説を提示する。

A5 判 332 頁 4,000 円
ISBN 978-4-87698-276-9

ご購入申込書

高橋 康夫 著 京都大学学術出版会 発行
海の「京都」 日本琉球都市史研究
ISBN 978-4-87698-876-1 定価：本体11,300円(税別)

ご購入申込数

既刊書

平安京の住まい	4,000 円	冊
平安京と貴族の住まい	4,200 円	冊
夢とモノノケの精神史	4,000 円	冊
平安京—京都 都市図と都市構造	5,800 円	冊
東アジア都城の比較研究	8,400 円	冊
都城の系譜	8,000 円	冊

※お支払い方法

選択1 私費・公費

公費書類宛名：

選択2 郵便振替・銀行振込・クレジットカード

種類： VISA · Master · AMEX · JCB · Diners

番号：

有効期限： 年 月

名義(カード面刻記アルファベット表記)：

お問い合わせは.....

一般社団法人 京都大学学術出版会

606-8315 京都市左京区吉田近衛町 69 番地 京都大学吉田南構内
TEL 075-761-6182 FAX 075-761-6190
URL <http://www.kyoto-up.or.jp>

お取扱書店

ご購入方法のご案内

- 表示価格は税別です。別途消費税を申し受けます。
- 小会発行図書は全国の書店、大学生協、ネット書店でご注文いただけます。
- 小会webでも販売しております。国内送料は無料です。公費等にも対応しています。
- 本申込書をFAXまたは郵送で小会宛お送りいただければ、到着後1~3営業日以内に発送致します。この場合、別途規定送料を申し受けます。
 - 規定期料 国内配達 ご注本文体価格計 1万円未満：350円、1万円以上：無料
 - 海外配達 航空便書留相当実費

平安京—京都 都市図と都市構造

金田章裕 編

8世紀末に建設された平安京は、当時から人口約10万人ほどの大都市だった。そして近世まで人口10万人~30万人の大都市として持続し、現代の100万人規模に至る。同時に12世紀以来の数多くの都市図を有している点でも、世界で類例少ない都市である。このような平安京—京都を、都市図と都市史の双方の観点から分析する。

B5 判 246 頁 5,800 円
ISBN 978-4-87698-696-5

東アジア都城の比較研究

橋本義則 編著

膨大な考古学・歴史学的知見がありながら、明確に比較されてこなかった、日本、朝鮮、中国の都城。その共通特性とは？違いとは？「羅城」「葬地」「禁苑」「壇廟」という、四つの要素ごとに、日・中・韓の第一線の研究者が都城の姿や性格、誕生と変容について、最新の調査成果をもとに縦横に議論し、比較の視点と方法論を模索する。

B5 判 432 頁 8,400 円
ISBN 978-4-87698-990-4

都城の系譜

応地利明 著

古代インドの政治論書アルタシャーストラを引きつつ、ヒンドゥー世界における都城の理念・形態を明らかにし、中国都城やイスラーム世界にも論を広げることで、アジアにおける都城の原型とその「パロック的展開」である日本やベトナムの都城史を精密に俯瞰する。インドを論じてこそアジアが理解できる、と主張してきた応地都城論の集大成。

菊判 760 頁 8,000 円
ISBN 978-4-87698-980-5

京都 海の「京都」

日本琉球都市史研究

高橋 康夫 著

[ISBN 978-4-87698-876-1]
定価 本体一二三〇〇円(税別)

日本の京都と琉球の首里は、東アジア中世の代表的な「京都」（首都）でありながら、都市壁をもたないなど、北京やソウルといった大陸の都市と大きく異なる点をもつ特徴的な都市である。これら【海の「京都」】の空間構造を

読み解くことで、日本中世の都市像とその形成史に迫り、東アジア中世都市の普遍性と多様性を明らかにする。



首里

目次

- 序章
 一、本書の概要
 二、東アジア中世の「京都」
 三、日本の中世都市像
- コラム1 道は「公界」
 コラム2 京都の空間構造
- 第一部 海の「京都」の空間構造**
- I 京都
 第一部 はじめに
- 第一章 中世の巨大都市・京都—空間構造と社会
 二、室町期京都の空間形成
 三、都市空間の形態と構造
 コラム3 寄合と雑談の建築
- 第二章 日本中世の「京都」
 一、「京都」へ
 二、「王都」の成立
 三、「王都」の展開
 四、「武家の「京都」
- コラム4 平泉
- 第三章 足利義満の「王都」
 一大規模開発と地域空間形成
- 第四章 中世「王都」の解体—上京の地域形成
 一、義姫の城—都市支配の城の出現
 二、内裏と仙洞
 三、相国寺
- 第五章 織田信長と京の城—近世都市・京都へ
 一、將軍御所と地域空間形成
 二、上杉本洛中洛外園屏風にみる室町殿と細川殿
 三、細川殿と上京の地域空間形成
- 第六章 豊臣秀吉の「京都」
 一、秀吉の政権構想と「首都」
 二、京都（首都城下町）の大造営
 三、「武家の城」の歴史的意義
- 第七章 京・まちづくり史
 一、京都人の誕生と「住みこなし型まちづくり」
 二、平安時代「室町時代」まちづくりの担い手・町衆の誕生と「計画型まちづくり」
 三、安土桃山時代・江戸時代
 小論1 京の通り名
 二、京の通り名
 三、通り名の歌
 通り名の歌は何を物語っているか
 三、「通り」はいつ生まれたのか
 四、「町小路」から新町通りへ
- 第八章 生業と地域空間形成
 一、表長屋の同業者店舗
 二、中世前期の市と町
 三、町座とその施設
 四、立売の展開
- コラム5 四条綾小路—祇園祭と町・町家
 コラム6 京都・六角町—「まち」から「ちょう」へ
 コラム7 扇の座—製作と商いの場
 コラム8 茶屋—町衆文化の一断面
- 小結
 一、義満と秀吉の「京都」
 二、武家政権の「首都」
- II 首里・那覇
- 第九章 王都—首里の大規模都市開発
 一、琉球王国の成立と王都の莊城
 二、禪宗寺院の状況—鐘銘を素材として
- 第三部 海の「京都」と自然
- I 京都
 第二部 はじめに
- 第一章 波上権現護国寺の再興
 付論 補陀落度海僧日秀上人と琉球―史書が創った日秀伝説
- 二、波上権現・護国寺―問題の所在
 三、護国寺の再興
- 第二章 波上権現護国寺の再興
 一、近世の波上権現・護国寺―問題の所在
 二、波上権現・護国寺の再興
 三、金峰山三所大権現の創建—日秀の漂着地とその時期
 四、日秀と那覇・首里・浦添における事蹟
 小結
 一、首里・那覇の並列性・二重性
 二、首里・那覇の社会・文化・空間の構造（対照性）
 天妃宮の変遷
- 第五章 波上権現護国寺の再興
 付論 補陀落度海僧日秀上人と琉球―史書が創った日秀伝説
- 三、波上権現・護国寺の再興
 一、波上権現と日秀
 二、平泉と京都—都城から中世都市へ
 三、平泉・衣河と首里・那覇—北と南の国際都市
 四、京都と首里—琉球と日本の「京都」
 東アジア（ユーラシア）都市史のなかの海の「京都」
- 第三部 居住環境の中世史
- 第一章 中世の都市空間の創出
 一、南北朝・室町期の都市発展
 二、喫茶の空間の展開—都市文化の発達
 三、会所とその発展—書院造の形成へ
 四、十境—環境造形の思想
- 第二章 中世の都市・京都
 一、庄園領主の都市・鎌倉
 二、庄園領主の邸宅
 三、住空間の分化と発展
 四、都市住居の成立
- 第三章 地方の都市と農村
 一、武家の首都・鎌倉
 二、國衙・守護所
 三、住空間の分化と発展
 四、津宿・市・町
 五、農村と住居
- 第四章 巨大都市・京都
 一、南北朝・室町期の都市発展
 二、喫茶の空間の展開—都市文化の発達
 三、会所とその発展—書院造の形成へ
 四、十境—環境造形の思想
- 第五章 首都圏とその文化の形成
 一、三都の発展
 二、住空間構成の変質
 三、草庵の伝統と茶屋の文化
- 第六章 近世都市化
 一、畿内近国の村と町
 二、地方都市の展開
 三、織豊政権と近世都市化
- 第七章 近世都市の胎動
 一、將軍御所の壇所—雑談の場として
 二、武家護持僧と壇所
 三、義教と月次壇所
 四、將軍御所と壇所
- 小論2
 一、聚楽第と「唐獅子図屏風」
 二、聚樂第の大廣間
 三、狩野永徳の「唐獅子図屏風」
 四、「唐獅子図」を飾る御殿
- 小論3
 一、「まちづくり史」とは
 二、京都らしい都市景観とその継承
 三、京都・岡崎の文化的景観—京都のなかの岡崎
 四、京都・祇園祭山鉢町の文化的景観—京町家とまちづくり
 五、都市・建築史学と文化的景観
- 結章
 一、京都らしさの都市景観とその継承
 二、京都らしい都市景観と後陽成天皇行幸
 三、京都・祇園祭山鉢町の文化的景観—京町家とまちづくり
 四、京都・建築史学と文化的景観
- あとがき
 初出一覧
 図版・写真一覧
 索引（事項索引／地名索引／人名索引）